



庄内川沿いに県内最大級のモミジ
が自生する旧国鉄中央線廃線跡
庄内川沿いに県内最大級のモミジ
が自生する旧国鉄中央線廃線跡
昨年11月29日、春日井市玉野町で

廃線区間は一九六六(昭和四十一)年の中央線電化複線化工事完成で放棄された約八キロ。明治期に造られた赤れんがトンネル十三が庄内川沿いに残り、一九〇〇(明治三十三)年の中央線開通当時の面

トンネル一・五キロ区間を公開する。山あいで駐車場は一切ないため、参加は中央線JR定光寺駅(徒歩三分)利用が条件となる。

現地には、多数のモミジが自生しており、中でも四号トンネルの岐阜県側出口にあるモミジは胴回り二尺前後の幹三本が根元から枝分かれした県内最大級の巨木。イベントとして、芋煮会(二十一日)、野立て茶会(二十二、二十三日)、クラフト教室、トンネル内ミニコンサートを予定しており、同NPOはコンサート出演者を募集している。問い合わせは、同NPOの村上真善事務局長(電090-(4860)4664)へ。

NPO法人「愛岐トンネル群保存再生委員会」(事務局・春日井市鳥居松町)は21~23日の午前10時から午後3

旧国鉄中央線廃線跡

時まで、春日井市玉野町の旧国鉄中央線廃線跡を市民に公開する。参加費無料。雨天中止。
(都築修)

春日井のNPO法人 21~23日公開



影を残す。

市民への公開は廃線跡地の買い取りを目指して活動している同NPOが昨年から春秋に実施。四回目の今回は来年の中央線開通百十周年プレ記念行事。整備済みの三一六号

芋煮会や茶会

ミニ演奏会も

3日間限定紅葉狩り